令和6年度わいわいキッズ　モルック　記録　総務

日時：令和6年9月21日（土）8時30分～11時30分（わいわいキッズは9時30分～11時）

場所：南区スポーツセンター　体育室

内容：「モルック」（子ども用に双六を組み合わせた特別ルールで実施）

☆1日の流れ



参加者　子ども13名　スポーツ推進委員15名

1. 集合・打合せ（8:30～）

① スポーツ推進委員の参加者点呼

② 会長挨拶　センター職員が参加者数説明





③ 研修委員が本日の流れを説明

・子ども用の特別ルールの説明

・推進委員が2グループに分かれ2コートで行う→その後グループごとに役割分担の話し合いをした。

2. 会場準備（8:40～）

①準備物 確認（センターが準備して下さっています。）





●A4版の双六の絵（裏面モルックのルール説明）（※これは参加者分準備してあったので、配付してもよかった）　●ハプニングカードセット　●得点記録表（白紙）　●得点記録表の書き方

②モルックコート以外の準備物設営





●ホワイトボードは3台
（中央の説明用、各チームに各1台で計3台）中央のホワイトボードにチーム名になる「ゆるキャラ」が貼られたマグネットを置き、子どもたちに選んでもらう。それが双六の駒になる

●ルール説明時に双六の絵 A3版を貼って説明。



●チームごとのホワイトボードは、双六の絵 A3版、ハプニングカード、得点記録表等々を並べて設置。双六では自分たちで駒を進めるため、子どもの身長に合わせて、絵を貼る高さを調整する。



●各コートにマイク各1本。
特にハプニングカードが出た時に、マイクを使ってみんなにアピールする。引いたカードの言葉は、子どもたちに読んでもらう。途中ゲームの実況をしても可。

③モルックのコート準備 （メジャーがいります。）





●バドミントンのダブルス用コート1面を使用。壁に向かって投げるように投げる場所を設定。（3.5mの所にモルッカーリの代わりに鎖を置く）
●低学年（1、2 年生）は1メートル前で投げられるので、スキットルから 2.5mの所にメンディングテープで印をする。

●スキットルを並べる



3.わいわいキッズ開催（9:30～）

●開始は9時30分～だが、20分ごろから少しずつ参加者が集まってくる。挨拶をして会場に入ってもらう。
●9時30分前にスポーツ推進委員は集合して整列 9 時30分にセンター職員が子どもたちを集合させる。



① 開会　センター職員、会長挨拶、続いて研修委員による説明(写真ぼけててすみません。)



参加した子どもの約半数は経験者だったが、半数は初めてだった。得点の入り方と今回のゲームの特別ルールを説明(双六を使うこと、ハプニングカードがあること、50点越えても OK、50点以上で双六のあがりになる)。

※投げ方の説明があってもよかったかも

(3人続けて失投したら0点になり失格のルールは採用しない。)



②チーム作り

説明後、子どもたちでチーム作り　自分のチームのゆるキャラの駒を選ぶ。

今回13名参加なので3人と4人のチーム4チーム作り、総当たりで3ゲームした。



③ゲーム風景

対戦チームとじゃんけんし、先攻・後攻を決め、投げる順番を決めてもらい、推進委員が得点表に記載する。

子どもに「得点の確認」「投げたモルックを拾って次の人に渡す」「スキットルを立て直す」等できることはしてもらうよう声掛け。得点が決まったら、チーム全員がボードの双六の前に行き、駒を進める。その間次のチームの人は投げずに待つように指示する。



④ハプニングカード選び

ハプニングカードの所に止まったら、マイクでアナウンス。今投げた子にカードを引いてもらい、チームみんなで書いてあることを読み実行してもらう。(盛り上がるところです！)

⑤本式ルールでの対戦

10時45分ごろ総当たり戦が終了したので、本式のルール(50点を超えると 25点に戻ってしまう)で、1ゲーム行った。(ここも3人続けて失投したら0点になり失格のルールは採用しない)11時少し過ぎに終了。

4.終了・片付け(11:10～)

終了はセンター職員による挨拶、次のわいわいキッズのお誘いを行った。

子どもたちとあいさつをして終了。推進員全員で片づけを行い解散。

